



学校だより

4月号 第436号

教育目標：自分がすき 友だちがすき まちがすき 進んで学ぶ 山田の子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamata/>

寄り添いながら

校長 藤原 明美



この春は暖かな日が続き、ソメイヨシノから八重桜、ハナミズキへと、花のバトンをつないでいくように、花々が誇らしげに咲いています。校庭を通り過ぎる風が柔らかな季節となりました。希望に満ちた春、ピカピカの新入生を迎え、令和5年度の学校生活がスタートいたします。一つ上の学年に進級する子どもたちも気持ちを新たに、そして希望に胸を膨らませて新年度を迎えたことと思います。

私は、4月1日付で、山田小学校の校長として着任いたしました、藤原 明美（ふじわら あけみ）と申します。本校のよき伝統を大切にしながら、保護者・地域の皆様と共に、子どもたちの健やかな成長のために精いっぱい力を尽くしてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

年度当初は、どの子も期待と共に少なからず緊張や不安を抱えているものです。とりわけ今年度は、長く感染症対策の下で過ごしてきた子どもたちにとって、ワクワクする楽しい気持ちと同時に、これまでとは違う新しい動きに戸惑いを感じることもあるかもしれません。子ども一人ひとりの心に寄り添いながら、新しい学校生活に慣れていけるよう支援をしてまいります。そして「だれもが安心して豊かに」学校生活を送れるように教職員で力を合わせていきたいと思っております。

私が植えたほうき性花桃のたくさんのつぼみ一つひとつが開き、この春も満開を迎えました。私はその枝ぶりを見るたびに、子どもたちの成長に思いを馳せます。「ほうき性」とは樹形のことで、箒の先を上に向けたような形をしています。壁に当たって一度は地面に向かって枝を伸ばしたとしても、何とかして空に向かって伸びようとするその姿に、成長の意志と生命力の強さを感じます。どんな環境でも自分を忘れず、自分らしさを表現しているかのようです。

子どもは、常に伸びようとしています。同時に、一人ひとり、かけがえのない存在です。子どもそれぞれのよさを見出し、心に寄り添い、その成長を見守り、後押ししていきたいと思っております。

何かを成し遂げ、うれしい時は一緒に喜び、困難なことに戸惑う時は、それを成長の好機と捉え、共に考える。そんな教師でありたい。

子どもの心に寄り添うことを大切にしながら、「アフターコロナ」における様々な教育活動を進めてまいります。保護者や地域の皆様におかれましては、本年度も山田小学校の教育活動へのご理解と温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

